

2020年10月8日

ソニー生命保険株式会社

国立大学法人 東京大学が発行するソーシャルボンド 「東京大学 FSI 債」への投資について

ソニー生命保険株式会社(社長:萩本 友男、以下「当社」という)は、このたび、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンド(第1回国立大学法人東京大学債券、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券です。

東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。本債券への投資資金は FSI^{注1)}事業に充当され、「ポストコロナ時代の新しいグローバル戦略を踏まえた研究」、「安全、スマート、インクルーシブなキャンパスの実現」を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

本債券への投資は、「すべての人々へ質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標(SDGs)^{注2)}の達成に貢献します。とりわけ、東京大学は FSI 事業として、SDGs の達成に資する様々な研究教育プロジェクトを推進しており、複雑化する社会課題の解決を目指しています。

2020年9月、本債券発行のための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、日本格付研究所(JCR)から Social 1(F)を取得しています。

当社は、本債券をはじめとした SDGs 債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるような取り組みを推進してまいります。

〈本債券の概要〉

銘柄	第1回国立大学法人東京大学債券
年限	40年
発行総額	200億円
利率	0.823%

注 1) FSI (Future Society Initiative:未来社会協創) とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること

注 2) 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる加盟国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲット

以上